

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 株式会社 千葉銀行
 コード番号 8331 URL <http://www.chibabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 竹山 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阿部 忠
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月28日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日
 特定取引勘定設置の有無 有

上場取引所 東

TEL 043-245-1111

平成20年12月10日

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	132,008	△2.9	12,189	△72.0	7,640	△72.6
19年9月中間期	136,000	7.1	43,619	18.2	27,911	8.9

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円 銭		円 銭	
20年9月中間期	8.54		—	
19年9月中間期	31.22		—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	連結自己資本比率(国際統一基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
20年9月中間期	10,043,489	564,271	5.4	617.27	11.31
20年3月期	9,835,939	580,168	5.7	634.94	12.20

(参考) 自己資本 20年9月中間期 551,734百万円 20年3月期 567,552百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注)「連結自己資本比率(国際統一基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
21年3月期	—	6.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	0.4	30,000	△62.1	19,000	△58.6	21.25

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	20年9月中間期	895,521,087株	20年3月期	895,521,087株
② 期末自己株式数	20年9月中間期	1,698,676株	20年3月期	1,656,833株
③ 期中平均株式数(中間期)	20年9月中間期	893,836,579株	19年9月中間期	893,968,673株

(個別業績の概要)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	117,793	△1.7	11,108	△71.0	7,346	△73.0
19年9月中間期	119,855	9.2	38,406	20.6	27,270	10.9

	1株当たり中間純利益	
	円 銭	
20年9月中間期	8.21	
19年9月中間期	30.50	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	単体自己資本比率(国際統一基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
20年9月中間期	9,977,214	533,181	5.3	596.51	10.74
20年3月期	9,766,545	549,111	5.6	614.31	11.72

(参考) 自己資本 20年9月中間期 533,181百万円 20年3月期 549,111百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注)「単体自己資本比率(国際統一基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	1.0	28,000	△60.0	18,000	△59.7	20.13

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間のわが国経済をかえりみますと、景気は原材料価格の高騰や輸出の鈍化などを背景に停滞しました。企業収益は減少し、先行きに対する不透明感の高まりから設備投資も減少しました。また、個人消費は、雇用者所得の伸び悩みや食料品価格の上昇などを受け、弱めの動きを続けました。このようななか、物価は国内企業物価及び消費者物価とも上昇を続けました。

金融情勢をみますと、短期金融市場では、無担保コール翌日物金利は、期を通して0.50%前後で推移しました。一方、長期国債の流通利回りは、期前半1.8%台まで上昇しましたが、期後半は1.4%台で推移しました。日経平均株価は、5月に1万4千円台まで上昇しましたが、その後緩やかな下降を続け、9月の米国金融機関の破綻等を背景とした世界的な金融危機の影響を受け、期末には1万1千円台と3年ぶりの安値水準となりました。

このような金融経済環境のもと、当中間連結会計期間の経営成績につきましては以下のとおりとなりました。

経常収益は、前年同期比39億92百万円減少し1,320億8百万円となりました。これは、貸出金の増強により貸出金利息は増加しましたが、役員取引等収益や株式等売却益が減少したことなどによるものです。経常費用は、経営全般にわたる合理化を進めましたが、景気停滞に伴う企業業績の悪化により不良債権処理額が増加したほか、サブプライムローン問題による欧米金融機関の破綻等の影響により外国債券の売却損・減損処理を計上したことから、前年同期比274億38百万円増加し1,198億19百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比314億30百万円減少して121億89百万円となり、中間純利益は前年同期比202億70百万円減少して76億40百万円となりました。なお、1株当たり中間純利益金額は8円54銭となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては、銀行業務の経常収益は前年同期比26億41百万円減少し1,212億67百万円、経常利益は前年同期比303億68百万円減少し117億87百万円となりました。また、リース業務の経常収益は前年同期比2億40百万円減少し97億3百万円、経常利益は前年同期比2億30百万円減少し6億1百万円、その他業務の経常収益は前年同期比10億62百万円減少し18億3百万円、経常利益は前年同期比7億90百万円減少し△21百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

主要勘定の動きは、次のとおりとなりました。

預金は、さまざまな金融商品・サービスを品揃えし、給与振込や年金受取口座など家計のメインバンクとしてご利用いただくことを目指して活動してまいりましたことにより、中間期末残高は前期末比634億円増加し、8兆4,395億円となりました。

貸出金は、地域の法人や個人のお客さまの住宅ローンなどのニーズに積極的にお応えしてまいりましたことにより、中間期末残高は前期末比2,200億円増加し、6兆8,447億円となりました。また、特定取引資産は、前期末比314億円増加し3,164億円、有価証券は、前期末比124億円増加し2兆574億円となりました。

これらの結果、総資産の中間期末残高は、前期末比2,075億円増加し、10兆434億円となりました。

国際統一基準による自己資本比率は、前期末に比べ0.89%低下し、11.31%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年10月3日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号平成18年5月17日）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同実務対応報告を適用しております。これによる影響はありません。

(リース取引に関する会計基準)

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号平成19年3月30日）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号同前）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。これによる損益への影響は軽微であります。

貸手側に係る当該取引については、「その他資産」中のリース投資資産として計上しております。

また、リース取引開始日が平成20年4月1日以前に開始する連結会計年度に属する当該取引につきましては、前連結会計年度末における固定資産の減価償却累計額控除後の額で期首に契約したものととして計上する方法によっております。

なお、「その他資産」中のリース投資資産は41,284百万円増加し、「有形固定資産」が39,569百万円、「無形固定資産」が1,714百万円減少しております。

5 【中間連結財務諸表】
 (1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	367,958	426,953
コールローン及び買入手形	16,078	10,480
債券貸借取引支払保証金	13,520	22,081
買入金銭債権	60,019	65,434
特定取引資産	316,429	285,029
金銭の信託	28,826	29,511
有価証券	2,057,443	2,045,011
貸出金	6,844,783	6,624,687
外国為替	3,228	3,693
その他資産	112,315	70,819
有形固定資産	95,946	136,066
無形固定資産	7,809	9,583
繰延税金資産	67,207	48,319
支払承諾見返	112,174	112,049
貸倒引当金	△60,254	△53,784
資産の部合計	10,043,489	9,835,939
負債の部		
預金	8,439,502	8,376,091
譲渡性預金	120,527	128,003
コールマネー及び売渡手形	267,153	184,973
売現先勘定	99,824	97,401
債券貸借取引受入担保金	146,739	81,105
特定取引負債	14,682	16,617
借入金	99,362	80,646
外国為替	753	516
社債	41,000	41,000
その他負債	100,588	100,030
役員賞与引当金	—	63
退職給付引当金	18,700	18,435
役員退職慰労引当金	1,293	1,649
睡眠預金払戻引当金	790	996
ポイント引当金	762	607
特別法上の引当金	35	215
繰延税金負債	1	42
再評価に係る繰延税金負債	15,323	15,323
支払承諾	112,174	112,049
負債の部合計	9,479,217	9,255,770

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	123,399	123,404
利益剰余金	286,307	283,583
自己株式	△1,243	△1,217
株主資本合計	553,532	550,839
その他有価証券評価差額金	△10,531	8,634
繰延ヘッジ損益	961	300
土地再評価差額金	7,777	7,777
為替換算調整勘定	△5	1
評価・換算差額等合計	△1,798	16,713
少数株主持分	12,537	12,616
純資産の部合計	564,271	580,168
負債及び純資産の部合計	10,043,489	9,835,939

(2) 【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
経常収益	136,000	132,008
資金運用収益	93,395	93,020
(うち貸出金利息)	70,607	74,218
(うち有価証券利息配当金)	21,227	16,749
信託報酬	6	3
役務取引等収益	22,749	21,337
特定取引収益	1,872	1,856
その他業務収益	1,901	2,270
その他経常収益	16,075	13,520
経常費用	92,381	119,819
資金調達費用	23,692	19,397
(うち預金利息)	15,902	13,936
役務取引等費用	6,907	7,181
特定取引費用	27	—
その他業務費用	2,701	13,426
営業経費	43,138	44,106
その他経常費用	15,913	35,707
経常利益	43,619	12,189
特別利益	6,859	2,581
固定資産処分益	—	223
償却債権取立益	—	2,176
金融商品取引責任準備金取崩額	—	180
特別損失	2,549	309
固定資産処分損	—	309
税金等調整前中間純利益	47,930	14,460
法人税、住民税及び事業税	17,286	12,074
法人税等調整額	2,295	△5,545
法人税等合計	—	6,529
少数株主利益	436	289
中間純利益	27,911	7,640

(3)【中間連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	145,069	145,069
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	145,069	145,069
資本剰余金		
前期末残高	123,399	123,404
当中間期変動額		
自己株式の処分	1	△4
当中間期変動額合計	1	△4
当中間期末残高	123,401	123,399
利益剰余金		
前期末残高	247,412	283,583
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,917	△4,916
中間純利益	27,911	7,640
土地再評価差額金の取崩	20	—
当中間期変動額合計	23,014	2,724
当中間期末残高	270,426	286,307
自己株式		
前期末残高	△1,026	△1,217
当中間期変動額		
自己株式の取得	△153	△97
自己株式の処分	5	70
当中間期変動額合計	△148	△26
当中間期末残高	△1,174	△1,243
株主資本合計		
前期末残高	514,854	550,839
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,917	△4,916
中間純利益	27,911	7,640
自己株式の取得	△153	△97
自己株式の処分	6	66
土地再評価差額金の取崩	20	—
当中間期変動額合計	22,867	2,693
当中間期末残高	537,722	553,532

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	61,807	8,634
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△20,364	△19,165
当中間期変動額合計	△20,364	△19,165
当中間期末残高	41,442	△10,531
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	1,900	300
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	158	661
当中間期変動額合計	158	661
当中間期末残高	2,059	961
土地再評価差額金		
前期末残高	7,839	7,777
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△58	—
当中間期変動額合計	△58	—
当中間期末残高	7,781	7,777
為替換算調整勘定		
前期末残高	3	1
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1	△7
当中間期変動額合計	△1	△7
当中間期末残高	2	△5
評価・換算差額等合計		
前期末残高	71,551	16,713
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△20,266	△18,511
当中間期変動額合計	△20,266	△18,511
当中間期末残高	51,284	△1,798
少数株主持分		
前期末残高	12,416	12,616
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	25	△78
当中間期変動額合計	25	△78
当中間期末残高	12,442	12,537

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
純資産合計		
前期末残高	598,822	580,168
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,917	△4,916
中間純利益	27,911	7,640
自己株式の取得	△153	△97
自己株式の処分	6	66
土地再評価差額金の取崩	20	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△20,240	△18,590
当中間期変動額合計	2,627	△15,897
当中間期末残高	601,449	564,271

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	銀行 業 務	リー ス 務	その 他 務	計	消 去 又は全社	連 結
経 常 収 益						
(1)外部顧客に対する経常収益	123,391	9,757	2,852	136,000	—	136,000
(2)セグメント間の内部経常収益	517	187	13	718	(718)	—
計	123,908	9,944	2,866	136,719	(718)	136,000
経 常 費 用	81,752	9,112	2,097	92,963	(582)	92,381
経 常 利 益	42,155	831	768	43,756	(136)	43,619

当中間連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	銀行 業 務	リー ス 務	その 他 務	計	消 去 又は全社	連 結
経 常 収 益						
(1)外部顧客に対する経常収益	120,699	9,526	1,782	132,008	—	132,008
(2)セグメント間の内部経常収益	567	177	21	766	(766)	—
計	121,267	9,703	1,803	132,774	(766)	132,008
経 常 費 用	109,479	9,102	1,825	120,407	(587)	119,819
経常利益(△は経常損失)	11,787	601	△21	12,367	(178)	12,189

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。
2. 事業区分は、連結会社の事業の内容により区分しております。なお、「その他業務」は、証券業等であり
ます。

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの経常収益の合計額に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外経常収益

海外経常収益が連結経常収益の10%未満のため、海外経常収益の記載を省略しております。

6 【中間財務諸表】
 (1) 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	367,559	425,889
コールローン	10,578	7,980
債券貸借取引支払保証金	13,520	22,081
買入金銭債権	50,678	55,577
特定取引資産	316,180	284,647
金銭の信託	26,215	26,058
有価証券	2,057,346	2,044,463
貸出金	6,878,200	6,656,245
外国為替	3,228	3,693
その他資産	63,220	62,679
有形固定資産	90,049	90,270
無形固定資産	7,609	7,466
繰延税金資産	60,897	42,576
支払承諾見返	81,665	80,539
貸倒引当金	△49,737	△43,625
資産の部合計	9,977,214	9,766,545
負債の部		
預金	8,465,323	8,401,098
譲渡性預金	120,527	128,003
コールマネー	267,153	184,973
売現先勘定	99,824	97,401
債券貸借取引受入担保金	146,739	81,105
特定取引負債	14,682	16,617
借入金	99,694	80,901
外国為替	753	516
社債	40,000	40,000
その他負債	71,704	70,191
未払法人税等	10,833	13,654
その他の負債	60,871	—
役員賞与引当金	—	40
退職給付引当金	18,289	18,034
役員退職慰労引当金	1,091	1,360
睡眠預金払戻引当金	790	996
ポイント引当金	469	330
再評価に係る繰延税金負債	15,323	15,323
支払承諾	81,665	80,539
負債の部合計	9,444,033	9,217,433

(単位:百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,146	122,151
資本準備金	122,134	122,134
その他資本剰余金	12	16
利益剰余金	269,247	266,817
利益準備金	50,930	50,930
その他利益剰余金	218,316	215,887
別途積立金	202,971	169,971
繰越利益剰余金	15,345	45,916
自己株式	△1,243	△1,217
株主資本合計	535,218	532,820
その他有価証券評価差額金	△10,776	8,214
繰延ヘッジ損益	961	300
土地再評価差額金	7,777	7,777
評価・換算差額等合計	△2,037	16,291
純資産の部合計	533,181	549,111
負債及び純資産の部合計	9,977,214	9,766,545

(2) 【中間損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日)	当中間会計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月 30日)
経常収益	119,855	117,793
資金運用収益	92,501	92,845
(うち貸出金利息)	69,855	73,647
(うち有価証券利息配当金)	21,252	17,240
信託報酬	6	3
役務取引等収益	17,836	17,274
特定取引収益	1,554	1,687
その他業務収益	1,898	2,270
その他経常収益	6,058	3,711
経常費用	81,448	106,685
資金調達費用	23,680	19,415
(うち預金利息)	15,930	13,986
役務取引等費用	7,824	8,233
特定取引費用	27	—
その他業務費用	2,701	13,426
営業経費	40,245	41,329
その他経常費用	6,968	24,280
経常利益	38,406	11,108
特別利益	9,199	2,156
特別損失	2,328	222
税引前中間純利益	45,277	13,041
法人税、住民税及び事業税	15,901	10,830
法人税等調整額	2,105	△5,135
法人税等合計	—	5,695
中間純利益	27,270	7,346

(3) 【中間株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日)	当中間会計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月 30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	145,069	145,069
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	145,069	145,069
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	122,134	122,134
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	122,134	122,134
その他資本剰余金		
前期末残高	12	16
当中間期変動額		
自己株式の処分	1	△4
当中間期変動額合計	1	△4
当中間期末残高	13	12
資本剰余金合計		
前期末残高	122,146	122,151
当中間期変動額		
自己株式の処分	1	△4
当中間期変動額合計	1	△4
当中間期末残高	122,148	122,146
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	50,930	50,930
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	50,930	50,930
その他利益剰余金		
前期末残高	181,018	215,887
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,917	△4,916
中間純利益	27,270	7,346
土地再評価差額金の取崩	20	—
当中間期変動額合計	22,373	2,429
当中間期末残高	203,391	218,316

（単位：百万円）

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
利益剰余金合計		
前期末残高	231,948	266,817
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,917	△4,916
中間純利益	27,270	7,346
土地再評価差額金の取崩	20	—
当中間期変動額合計	22,373	2,429
当中間期末残高	254,321	269,247
自己株式		
前期末残高	△1,026	△1,217
当中間期変動額		
自己株式の取得	△153	△97
自己株式の処分	5	70
当中間期変動額合計	△148	△26
当中間期末残高	△1,174	△1,243
株主資本合計		
前期末残高	498,137	532,820
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,917	△4,916
中間純利益	27,270	7,346
自己株式の取得	△153	△97
自己株式の処分	6	66
土地再評価差額金の取崩	20	—
当中間期変動額合計	22,226	2,398
当中間期末残高	520,364	535,218
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	60,989	8,214
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△19,995	△18,990
当中間期変動額合計	△19,995	△18,990
当中間期末残高	40,994	△10,776
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	1,900	300
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	158	661
当中間期変動額合計	158	661
当中間期末残高	2,059	961

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
土地再評価差額金		
前期末残高	7,839	7,777
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△58	—
当中間期変動額合計	△58	—
当中間期末残高	7,781	7,777
評価・換算差額等合計		
前期末残高	70,730	16,291
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△19,895	△18,329
当中間期変動額合計	△19,895	△18,329
当中間期末残高	50,834	△2,037
純資産合計		
前期末残高	568,868	549,111
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,917	△4,916
中間純利益	27,270	7,346
自己株式の取得	△153	△97
自己株式の処分	6	66
土地再評価差額金の取崩	20	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△19,895	△18,329
当中間期変動額合計	2,330	△15,930
当中間期末残高	571,198	533,181

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。